

平成31年2月1日

平成30年度第2回京都市明るい選挙推進協議会総会（摘録）

1 日 時 平成31年2月1日（金）午後2時から午後3時

2 場 所 職員会館かもがわ1階 第1会議室

3 出席者

(1) 委員（◎は会長，○は副会長 敬称略）

京都大学名誉教授	◎木下 富雄
立命館大学名誉教授	○村山 皓
京都府立大学准教授	松岡 京美
ジャーナリスト	木下 明美
公益社団法人 京都青年会議所副理事長	藤井 大輔
京都市選挙管理委員会委員長	松野 公一郎
〃 委員長職務代理者	小林 昭朗

(2) 事務局

京都市選挙管理委員会事務局長	小田 久人
〃 次長	石田 忠彦
〃 選挙課担当課長	柴田 洋志
〃 選挙課啓発係長	丸山 智也
〃 選挙課書記	松村 朋香

4 摘録

(1) 挨拶

(2) 協議

- 京都市議会議員一般選挙及び京都府議会議員一般選挙における選挙時啓発について
- 事務局：「京都市議会議員一般選挙及び京都府議会議員一般選挙における選挙時啓発計画（案）」資料に基づき説明。
- 委員：期日周知ポスターのデザインは、四市（京都・大阪・堺・神戸）合同啓発事業で制作した動画のデザインを活用するということによかったか。
- 事務局：その通りである。
- 委員：四市間での人の行き来は多いため、連携するのは良い事である。
- 委員：前は、旧新風館などでも動画を放映していたが、今回はどうするのか。また、競馬場での啓発が入っていないのはなぜか。
- 事務局：今回は、北大路駅・四条駅・京都駅・山科駅のデジタルサイネージで放映する予定である。競馬場での啓発がないのは、該当の時期にレースが行われないためである。
- 委員：大学コンソーシアム京都メーリングリストはどのように活用しているのか。

- 事務局 : メーリングリストの活用は、本市総合企画局大学政策担当が各区局等へ案内している大学・学生への事業の周知方法のひとつであり、選管もそれを活用して大学・学生へ選挙の周知を図っているものである。
- 委員 : 成人式での啓発事業について、簡単に報告をしてほしい。
- 事務局 : 天気も良く来場者は多かった。また、舞妓さんは人気で、多くの新成人が写真撮影するためにブースに訪れていた。時間帯によってはブースに列もできていた。1000名を超える方に写真撮影や啓発物品の配布ができた。めいすいくんの着ぐるみも会場を練り歩きながら啓発を行った。多くの新成人に対して啓発できたのではないかと思います。
- 委員 : 出前授業はどのくらいの頻度で行っているのか。
- 事務局 : 今年度は30校ほどで実施している。実施校は年々増加傾向にある。
- 委員 : 啓発活動支援事業はいつから実施しているのか。
- 事務局 : 平成28年2月の市長選挙からである。
- 委員 : 支援の対象となる啓発活動は若年層向けの事業限定なのか。
- 事務局 : 啓発活動支援事業に応募いただけるのは、メンバーの過半数が大学・短期大学の学生が占める「学生団体」としているが、その団体が行う啓発活動の対象者についての指定はしていない。
- 委員 : 大学入学式における啓発でアンケートの実施とあるが、何をするのか。
- 事務局 : 選挙に行くか、行かないか等といった簡単なアンケートに、ボードにシールをはって答えていただく。アンケートの内容には重点を置いておらず、アンケートに答えることで意識を高めることを目的としている。
- 委員 : SNSでの啓発はどのように行うのか。
- 事務局 : 京都市公式のツイッターやフェイスブックなどを利用する予定である。

(3) その他

○第30期京都市明るい選挙推進協議会委員について

- 事務局 : 「京都市明るい選挙推進協議会委員名簿(第29期)」、「京都市明るい選挙推進協議会設置要綱(改正案)」、「京都市明るい選挙推進協議会設置要綱(新旧対照表)」資料に基づき説明。引き続き委員に就任いただく旨、また、市民公募委員の就任について承諾をいただく。

(4) 松野委員長(京都市選挙管理委員会委員長)挨拶

(15:00終了)